

### 3月の植物

## コショウノキ (ジンチョウゲ科)

学名 : *Daphne kiusiana* Miq.

コショウノキの分布は関東地方以西の太平洋側、四国、九州、沖縄。佐賀県では佐賀県植物目録(1981年)によると「蛤岳、富士町須田、浮岳、馬渡島、加唐島、伊万里市山ノ寺、西有田町国見山、山内町黒岳、武雄市北檜崎、朝日町中野、嬉野町水頭、虚空蔵山 やや稀」とある。この外に黒髪山(松尾優氏)、鎮西町(貞松光男氏)、中島義則顧問の自生地確認によると令和元年は作礼山(厳木)、女岳(七山)、夕日山(唐津)、三方山(相知)、城古岳(伊万里)、令和2年は飯盛山(波多津)、木場城山(波多津)、国見岳(山代町)、大通山(東山代)、今岳(伊万里)、日岳(北波多)、令和3年は黒岳(山内)。写真は同伴したときのものである。

山地林内に生え、高さ1m前後の雌雄異株の低木。芳香のある花を1~4月、枝先に頭状に数個つける。顎筒は白色、肉質で厚く長さ8~10mm。先は4裂し、外面には細かい毛が密生する。葉は互生、葉身は長さ4~16cm、幅1.5~4cmの長楕円形または倒披針形。ふちは全緑。表面は光沢があり、両面とも無毛。実は球状楕円体で、長さ1cm前後、初夏に熟し、柔らかく赤色になる。噛むと非常に辛いため、コショウの名がついた(有毒である)。(文責 小池英毅)

引用文献:「樹に咲く花」(山と溪谷社)、「九州の花図鑑」(益村聖著 海鳥社)、「黒髪山系の植物」(松尾優著 不知火書房)、「佐賀県の樹木」(貞松光男著 佐賀新聞社)、「佐賀県植物目録」(1981 馬場胤義編 佐賀植物友の会)



写真は大通山尾根(伊万里市)2021.1.28、枠内は黒岳尾根(山内町)2021.2.12